

服用前にこの説明文書を必ず読むこと。
また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。

第②類医薬品

ゴオウ配合感冒薬

ブロムンG

ゴオウは、解熱、鎮痛、強心作用があるとして種々の熱性疾患に用いられてまいりました。中国では、古くから滋養強壮剤の要薬として重用され、インドでは、仏教經典にその名がみられます。

風邪薬にゴオウを配合することにより、風邪特有の諸症状を緩和いたします。

初期症状があらわれたときは、このゴオウ配合感冒薬をおのみいただいて、早めに治療することが大事です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

- 1. 次の人は服用しないこと
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
- 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気等があらわれることがある。）
- 4. 服用前後は飲酒しないこと
- 5. 長期連用しないこと

🗨 相談すること

- 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人。(4) 高齢者。(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(6) 次の症状のある人。高熱、排尿困難(7) 次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
- 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関 係 部 位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精 神 神 経 系	めまい
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

(裏面に続きます)

間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
□のかき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量 次の量を食後なるべく30分以内に服用すること。

年 齢	1 回 量	1日服用回数
15歳以上	2 カプセル	3 回
7 歳以上15歳未満	1 カプセル	3 回
7 歳未満	服用しないこと	

(1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。(2) 用法・用量を厳守すること。(3) カプセル剤の取り出し方。図のようにカプセル剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。)

組成と作用 1日量 6 カプセル中に次の成分を含む。

成 分	6 カプセル中	主な作用
ゴオウ末	3mg	解熱、鎮痛、強心作用がある。
ヘスベリジン	90mg	毛細血管を強くする。
リボフラビン	3mg	かぜの時に消耗しやすいビタミンB ₂ の補給。
アセトアミノフェン	900mg	熱を下げ痛みをしずめる。
無水カフェイン	75mg	頭痛をしずめる。
クエン酸チペビジン	60mg	せきをしずめ、たんをきる。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	鼻水をおさえる。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	のどの痛みをやわらげせきをしずめる。

添加物：セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、バレイショデンプン、酸化チタン、ゼラチン、ラウリル硫酸Na

〈成分に関連する注意〉

本剤に配合されているリボフラビンにより、尿が黄色になることがある。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる。）。
- (4) 配置期限を過ぎた製品は服用しないこと。



お問い合わせ先 田村薬品工業株式会社 お客様相談室
06-6203-5151 受付時間10:00～17:00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独) 医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元

田村薬品工業株式会社
奈良県御所市西寺田50